



2009ITUトライアスロン世界選手権横浜大会女子レース速報 井出が3位、庭田が6位に入賞

エリート優勝は、リサ・ノルデン(スウェーデン)

8月22日(土)、神奈川県横浜市の山下公園と市内を中心とする特設コースで、2009ITUトライアスロン世界選手権横浜大会が開催された。当日はユース女子とエリート女子のレースが行われ、白熱したレース展開となった。

気温32.7度、水温26度(当日午前10時時点)という気候は選手を苦しめた。前日に試走をした選手たちは「スイム会場は多少うねりはあるものの泳ぎやすい」と話していたが、予想以上の水温に戸惑った選手も多かった。

午前10時スタートのエリート女子は、1周回の後半から一人抜き出た中島千恵(トーションパートナーズ・チームケンズ)がトップでスイムフィニッシュ。その後ろをリズ・ブラッチフォード(イギリス)、サラ・ハスキンス(アメリカ)、土橋茜子(トーションパートナーズ・チームケンズ)、ジョディー・スワロー(イギリス)ら4人が追う形。少し遅れて、井出樹里(トーションパートナーズ・チームケンズ)、アンドレア・ヒューイット(ニュージーランド)らがバイクに移る。

バイクでは、スイムをトップであがった中島を含む4名が集団をつくるが、3周回途中で庭田、井出、田中敬子(NTT東日本・NTT西日本/スカイタワー58)らを擁する第2集団に追いつかれ、大きな集団となる。その後ろを追っていたニコラ・スピリグ(スイス)、スワローも追いつき総勢21名の集団を



ポンツーンから一斉に飛び込んでスイムスタート



赤レンガ倉庫の前を通り横浜の街を駆け抜ける

JTU Official Partners & Official Suppliers



となるが、直後スワローは後退。20名の集団でバイクフィニッシュし、トランジションへと入った。

ランに入ると、徐々に集団が分かれていき、少数で争うようになる。ブラッチフォード、リサ・ノルデン（スウェーデン）、ヒューイット、井出、ハスキンス、庭田、ラックスフォードの6名で形成された第1集団は、牽制しあいながらペースを上げるタイミングをうかがっていた。3周回目でもノルデン、ヒューイット、井出の3人が集団から抜き出て、4周回目に突入する。3名のサイド・バイ・サイドが続いたが、山下公園に入る直前でノルデンが一気にペースをあげ、そのままフィニッシュ。ゴール直前でペースを崩した井出の隙をつくように、ヒューイットが井出を抜いて2位でフィニッシュ。井出は3位となり、その20秒後にブラッチフォード、ラックスフォード、庭田の順でフィニッシュした。

また、同日午前8時より行われたユース女子は、スイムから佐藤優香（日本橋女学館高校）が飛び出し、バイク、ランでも後続を寄せ付けず、2位の山本奈央（チームケンズジュニア）に1分以上の差をつけて優勝。3位までの結果は以下の通り。

- 1位 佐藤 優香（日本橋女学館高校）
- 2位 山本 奈央（チームケンズジュニア）
- 3位 福田 慶（日本大学豊山女子高校）

なお、レースの様子はフォトギャラリーでもご覧になれます。



井出、庭田が先頭集団に入りランをけん引した

リサ・ノルデン スウェーデン



今期、WCS3戦で銀メダルを取っているが、やっと金メダルが取れてうれしい。本当は涼しいにこしたことはないけど、暑い気候もいやじゃない。今日は、競り合ったヒューイットと井出がいたから勝てた。最後に疲れるまえにスパーとしたのがよかった。

佐藤優香

日本橋女学館高校



目標としていた、3種目すべてでリードを保って、その上で勝つことができた。最終的に1分以上の差がつけられたので満足。年齢の関係で今年はスプリントディスタンスにしか出られないが、来年は51.5kmで勝ちたい。

井出 樹里

トーンパートナーズ・チームケンズ



トニョンに続いてのWCS3位は嬉しいが、横浜での大会は勝たなければ意味がなかった。調子は戻ってきたが、トニョンと同じで、またフィニッシュ前500mで振り切られた。ここでの勝負に勝つのが今後の課題。アジア選手権は行かず、世界選手権ファイナルに出る。

JTU Official Partners & Official Suppliers

